

研究課題名

糖尿病足病変・糖尿病腎症患者に対する理学療法効果の検証

研究グループ

研究責任者の氏名

研究責任者：松波総合病院リハビリテーション技術室荒川優也

共同研究者：同水谷健悟、中光夫、橋本真弥

研究の目的および概要

糖尿病患者さんでは神経障害、腎症、網膜症の糖尿病特有の合併症を持つ方が半数以上存在し、リハビリテーションを行う場合、糖尿病の病態に即した理学療法が必要とされています。しかし合併症を配慮した理学療法の確立には至っておらず体系化された関わりが求められています。糖尿病足病変および下肢慢性創傷の患者さんでは、足・足趾の関節可動域やバランス機能の低下が起きやすいとされており、全身的な視点で評価・治療を行うことで足病変、創傷の悪化予防につながることを期待されます。そこで私たちは、運動療法特有の効果を検証し、理学療法技術の体系化を図りたいと考えています。本研究では多施設共同研究によって下肢慢性創傷の患者さんのデータを日本理学療法士学会で収集し、その病態に対する理学療法の効果を検証します。データの提供は、関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

利用する情報

2015年1月から2018年2月の間に入院にて理学療法を行った糖尿病足病変または糖尿病性腎症を有する患者さんのカルテ情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査、薬物療法、合併症の有無、創傷の程度、日常生活の自立度、治療法、退院先等

利用する者の範囲

荒川優也、水谷健悟、中光夫、橋本真弥

連絡先

研究責任者松波総合病院リハビリテーション技術室荒川優也

電話:058-388-0111

FAX: 058-387-8578